

今週の「人権啓発映画上映会」スケジュールと作品紹介

上映日	上映作品名	整理番号 上映時間	関連する 人権課題等
20日 (月)	水俣わが故郷 ほっとはうす流もやい直し (短縮版) ※ 47分の作品を2回に分けて上映します。	I 2 47分	水俣病をめぐる人権
21日 (火)			
22日 (水)	風の人になりたい 岡本工介-アメリカ編-	F82 37分	部落差別 (同和問題)
23日 (木)	ミナマタ 井戸を掘ったひと 回想 川本輝夫 ※ 56分の作品を2回に分けて上映します。	I 4 56分	水俣病をめぐる人権
24日 (金)			
27日 (月)	みなまた 海のこえ ※ 40分の作品を2回に分けて上映します。	I 6 40分	水俣病をめぐる人権
28日 (火)			
29日 (水)	《上映作品リクエスト受付中》		
30日 (木)	ダリットに学ぶ部落の心 坂東希-インド編-	F88 36分	部落差別 (同和問題)
31日 (金)	正直に生きる (水俣病をめぐる人権) ～語り・緒方正実さん～	A 94 21分	水俣病をめぐる人権

※ランチタイム上映会 (黄色セル) での上映作品は、リクエストにより変更することがあります。

内 容	
○作品名	水俣わが故郷 ほっとはうす流もやい直し (短縮版)
	水俣病患者への根深い偏見・差別を克服するため、水俣市の小規模通所授産施設「ほっとはうす」の胎児性水俣病患者が、水俣病が多発した地区の小中学校で始めた交流授業を通じ、水俣の小学生が人権意識を育み大人になっていく様子などを描いた作品。
○作品名	ミナマタ 井戸を掘ったひと 回想 川本輝夫
	1973年のチッソとの直接交渉や、年金・医療費を含む協定書を勝ち取るなど、長く水俣病運動の先頭に立った故川本輝夫。父親を急性激症で悶死させ、自身も未認定患者だった川本は、埋もれた患者を訪ね歩き、重症の胎児性患者に会い、申請を勧め、人の痛みまでを背負って精力的に動き続けた。この映画は、1999年2月に急逝した川本輝夫の記録映像である。
○作品名	みなまた 海のこえ
	石牟礼道子の文章に、丸木俊・丸木位里が絵を書いた、水俣病の被害を伝えるベストセラーの名作絵本『みなまた 海のこえ』の朗読映画DVD
○作品名	風の人になりたい 岡本工介-アメリカ編-
	環境教育プランナー岡本工介の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着したドキュメンタリー。インディアン居住区や黒人解放運動の地で再確認した「つながる教育」の尊さ。これまでの運動の意味・成果をふまえた上での、これからの展望。部落問題が新しい時代に入った今だからこそ世に問う作品。
○作品名	ダリットに学ぶ部落の心 坂東希-インド編-
	国際NGO・反差別国際運動 (IMADR) で働く坂東希 (29)。6度目のインド訪問はふるさと和歌山からのスタディツアーをリードします。カースト制度による差別が、今も根深く残る南インドの農村部。日本のかつての被差別部落との類似性に、参加者たちも、連帯への思いを強くしていきます。国や民族を超え、つながることで互いがエンパワーメントされていく……。ダリット (不可触民階級) の人々との交流を通して、自らの解放運動の意味を思考する希の今を描きます。
○作品名	正直に生きる (水俣病をめぐる人権) 語り・緒方正実さん
	自分を含めて家族・親族の多くが水俣病患者という緒方さんは、手作りの“こけし”に想いを込めて、出会う人たちにメッセージを送り続けている。「水俣病は、人々が正直に生きなかったために起きた事件。皆さんは、弱い人や困っている人に手を差し伸べる正直さを持って生きていってください。」と。